

IPv6 でマナーを携帯システム

概要

さまざまなエリアごとに要求される携帯電話の利用マナーを移動しながら場所に応じて自動的に設定できるシステム

ポイント

車の運転席や病院、飛行機の中といった空間エリアごとに、マナーポリシーを指示するエリアマナータグが発信されます

ポイント

携帯を持った人がマナーエリアに入ると、そのエリアをカバーするエリアマナータグ通信局と携帯電話が IPv6 で直接通信して、エリアマナータグにマッチするマナーモードを自動設定

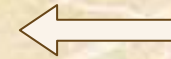
マナーは守りたいんだけど、めまぐるしく移動しているとつい設定を忘れることが多いし、人が集まる場所ごとに毎回マナーを守れというアナウンスもうるさくて。

運転中にドライブモードにし忘れていて、たまたまかかってきた電話が大切な仕事先からだったから、交通違反とわかっているのに、つい、とっちゃって。

IPv6 でマナーを携帯システムが社会インフラとして実現されたら？

エリアタグを IPv6 ピアツーピアで受信

朝、家を出がけに携帯電話で、「IPv6 でマナーを携帯モード」をオン！



HOSPITAL

携帯電話

エリアマナータグ通信局

	運転席の中	飛行機の中	病院の中	電車の中	授業中の教室
エリア					
マナーポリシー	車のキーを回したらドライブモード。キーを外したら、ノーマルモード。	搭乗ゲートをくぐった後に電源が切れる。搭乗ゲートを抜けると電源が入る。	病院の玄関をくぐったら電源が切れ、病院を出たら電源が入る。	車両に乗ったらマナーモードになり、降りると元のモードへ。	先生が教卓のスイッチをONにしている間は、授業モードになる。

他のメリット

携帯マナーにうるさい日本に来た海外の方がマナーの実践にとまどうことはありません。

携帯の機能が多機能化するにつれ、どんなマナーを実践すればいいか、今後迷わなくて済みます。